

[平成17年度普及に移す技術]

[普及に移す技術名] 秋咲きアリウムの切花用新品種「オータムヴィオレ2号」、「オータムヴィオレ3号」

[要約] 秋咲きアリウム「オータムヴィオレ」とヤマラッキョウを交配し、子房培養により切花品質の高い秋咲きアリウム新品種を育成した。「オータムヴィオレ2号」は「オータムヴィオレ」より開花期がやや早く、花茎が長く小花も密に着生する。「オータムヴィオレ3号」は「オータムヴィオレ」より開花期がやや遅く、花茎が長い。

[キーワード] 切花用、秋咲きアリウム、ヤマラッキョウ、子房培養、オータムヴィオレ2号、オータムヴィオレ3号

[担当] 福井農試・園芸バイテク部・バイテク研究グループ

[連絡先] 電話 0776-54-5100、電子メール y-nomura-fk@pref.fukui.lg.jp

[分類] 普及

[背景・ねらい]

平成15年8月に品種登録された切花用秋咲きアリウム「オータムヴィオレ」は、花茎が比較的短く、開花が一斉で収穫期間が短いため、改良を求められていた。そこで「オータムヴィオレ」を育種素材として、花茎が長く開花期の異なる切花用品種を育成した。

[成果の内容・特徴]

1. 育成の経過

1996年に「オータムヴィオレ」を種子親としてヤマラッキョウを交雑し、子房培養により雑種個体を得て、系統選抜により「オータムヴィオレ2号」と「オータムヴィオレ3号」を育成した。2000年から2003年の3年間、特性検定を行い、その優秀性が認められたので、2004年3月9日に品種登録出願を行った。

2. 特性の概要

1) 「オータムヴィオレ2号」

「オータムヴィオレ」と比較して、開花始めが6日程度早く、花茎は20cm以上長く太い(表1、図1)。花序は「オータムヴィオレ」と同程度かやや小さいが、小花数が多いので充実感がある(表1、図2)。花卉の色は鮮紫ピンク(JHS8904)で「オータムヴィオレ」の明赤味紫(JHS8905)とよく似ているが、若干淡い色をしている(表1、図1、2)。植え付けりん茎1球あたりの収穫花茎数は4本以上となり、「オータムヴィオレ」よりもやや収量が多い(表1、図1)。分球によって容易に増殖する。

2) 「オータムヴィオレ3号」

「オータムヴィオレ」と比較して、開花始めが3日程度遅く、花茎は10cm程度長く太さは同程度である(表1、図1)。花序は「オータムヴィオレ」と同程度かやや小さく、小花数は同程度である(表1、図2)。花卉の色は鮮紫ピンク(JHS8904)で「オータムヴィオレ」の明赤味紫(JHS8905)とよく似ているが、若干淡い色をしている(表1、図1、2)。植え付けりん茎1球あたりの収穫花茎数は4本程度で「オータムヴィオレ」と同程度である(表1)。分球によって容易に増殖する。

[成果の活用面・留意点]

1. 栽培データは壤土の畑土壌での調査結果であるが、水田転換畑など粘質で水分の多い土壌で栽培した場合は、花茎および花序に関する数値は大きくなる。

2. 採花後、球根を掘り上げて1球ずつに分球して植え替えを行い、翌年秋に採花する。

3. 栽培に当たっては福井県の許諾が必要で、当面は県内農家に栽培を限定する。

表1 オータムヴィオレ2号、オータムヴィオレ3号、オータムヴィオレの開花特性比較

品種	植付け 球重 (g)	開花始め (月/日)	花茎			花序		小花		花弁色 (JHS カラー チャート番号)
			長さ (cm)	径 (mm)	数	縦径 (mm)	横径 (mm)	数	径 (mm)	
オータムヴィオレ2号	10.6	10/20	73.8	4.1	4.5	57	62	164	10.9	鮮紫ピンク(8904)
オータムヴィオレ3号	11.2	10/29	58.1	3.8	4.1	59	61	95	9.6	鮮紫ピンク(8904)
オータムヴィオレ	7.5	10/26	48.2	3.8	3.8	60	65	87	9.9	明赤味紫(8905)

定植時期：2003年12月5日 栽植法：畝幅125cm、株間20cm、条間20cm、3条植え

施肥量(成分量 kg/a)：N 2.0、P₂O₅ 2.2、K₂O 2.0



図1 オータムヴィオレ(左)、オータムヴィオレ2号(中央)、オータムヴィオレ3号(右)の草姿 (バーは50cm)



図2 オータムヴィオレ(左)、オータムヴィオレ2号(中央)、オータムヴィオレ3号(右)の花序